

世界展開の進むイメージングメディア事業

— 進藤CEOがKANZAN、OPE、KSPの各社を訪問 —

KANZAN Spezialpapiere

事業概要：感熱紙等の製造販売
設立：1990年9月

Kanzaki Specialty Papers

事業概要：感熱紙等の製造販売
設立：1986年11月

OJI PAPÉIS ESPECIAIS

事業概要：感熱紙、ノーカーボン紙、
他の製造販売
設立：2011年9月

CENIBRA

進藤グループCEOが、8月18日～8月26日、世界展開するイメージングメディア事業の海外拠点のうち、ドイツ・KANZAN、ブラジル・OPE、米国・KSPを訪問しました。限られた日程のなかでありましたが、各社工場視察をはじめ、各社幹部、駐在員との懇談の場を通じて工場操業、品質改善に向けてさまざまなアドバイスがありました。引き続き改善努力を行い、今後の更なる事業発展を目指していきます。

KANZAN Spezialpapiere GmbH

KANZAN幹部、従業員と記念撮影
(事務所前緑地帯にて)



KANZANはデュレン市という古くから製紙業で栄えた町にあり、300年以上製紙業が営まれています。

8月18日当日は小雨がちらつく天気でしたが、一行はKANZAN近郊の褐炭(KANZANの主燃料)の採掘場(露天掘り)や、デュレン市内の紙の博物館を視察した後、KANZANに到着されました。

KANZAN到着後は、現地幹部から経営概況、工場概要説明の後、工場視察が行われました。CEOはKANZAN従業員の案内で工場内を隅々まで視察、操業に関わるさまざまな助言をいただきました。打ち合わせの最後では「皆の力を合わせてチャレンジしよう」との激励の言葉をいただいた上、机をノック(謝意を表すドイツ独特の方法)して、KANZANでの日程を終了しました。現在KANZANでは一丸となって改善に取り組んでいます。



工場視察中、製品倉庫にて



仕上部門オペレーター室で説明を受ける



工場近郊の褐炭(KANZANの主燃料)の採掘場(露天掘り)を視察



P2マシンヘッドボックス上

OJI PAPÉIS ESPECIAIS LTDA. (OPE)

工場視察を前にOPE幹部と記念撮影(工場敷地にて)



ブラジルの季節は冬ですが、王子パペイス・ピラシカバ工場視察の8月24日は天気も良く30度を超える暑さになりました。ピラシカバ工場はサンパウロから車で約2時間の距離。CEOは王子パペイスのポロシャツに着替え、ペーパーマシンやコーターから、用排水処理設備まで工場内を視察しました。短時間の視察でしたが、断紙対策、品質改善について

アドバイスをいただき、工場では早速検討を開始しました。

また、日ごろの5Sの取り組みの成果により、工場内はきれいに整頓されているとの評価をいただきました。工場敷地内に生息するカピバラには会えませんでした。工場視察後は、近隣の工業団地、現代自動車工場の外観も視察され、夜はブラジル風バーベキュー(シュハスコ)とサトウキビからつくったお酒(カッシャーサ)で現地幹部達とポルトガル語も交えながら歓談されました。



会議室にて



製造現場を視察(#11コーター)



製造現場を視察(#21コーター)

Kanzaki Specialty Papers Inc. (KSP)



KSP幹部、従業員と記念撮影
(KSPの正面にて)

8月26日の早朝、ニューヨークJFK空港に着かれた後、車でウェア市にあるKSPに到着されました。

KSPに到着されてからは、ポロシャツに着替え、3台のコーター、4台のスリッター、カラーキッチン、原材料、製品倉庫を精力的に視察され、断紙対策や工場管理について指摘をいただきました。また、駐在員とのミーティングでは、「海外駐在員は工場全体を見ることができる立場にある。自分の専門にとどまらず、知識を広め、現地スタッフから信頼される立場になるように」と、CEOご自身の経験も織り込んだアドバイスをいただきました。短時間の視察

のなか、いただいた指摘、アドバイスをもとに早速検討を開始、改善に向け取り組んでいます。